



### エアロを加工流用する



サイズ感がバッチリなGTウイングはWINコーポレーション製。リヤバンパー下にはレガシイ用を加工流用したリヤディフューザー。マフラーエンドはバイク用(ヨシムラ)を加工流用

## 車両データ 1998年式・EL51 TERCEL

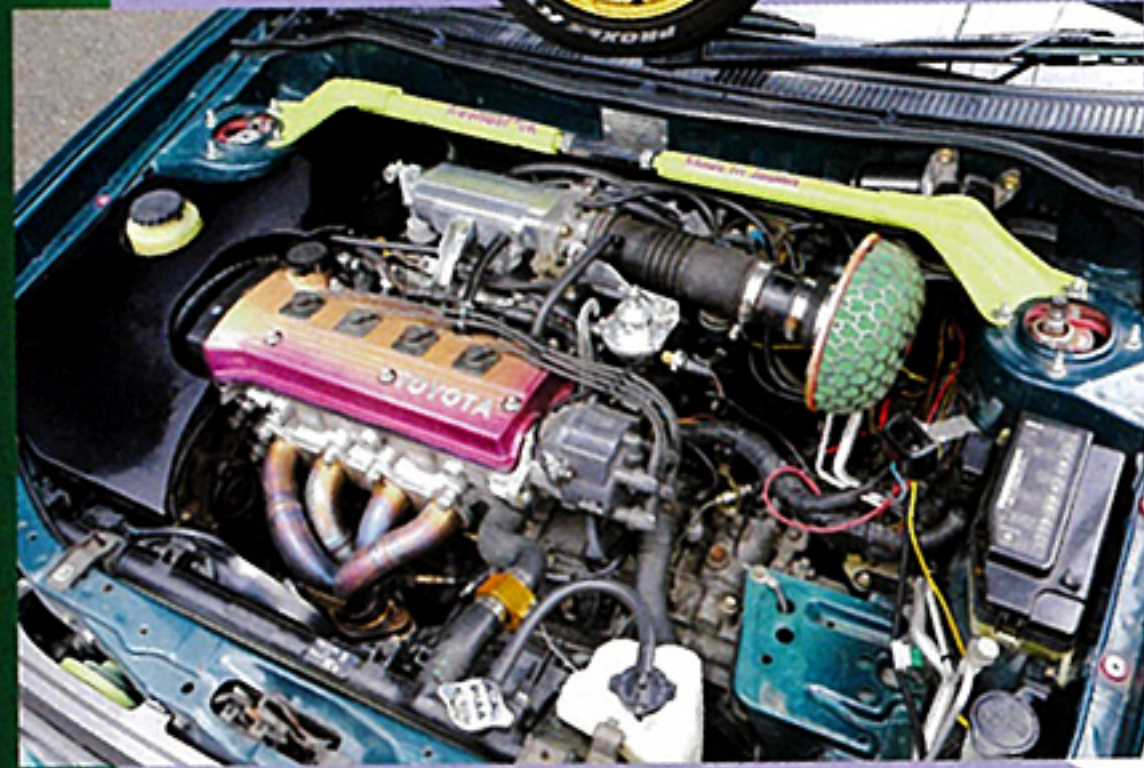
ノーズブラを装着したスタイルがいかにUS仕様といった感じだけど、パーフェン、シャコタン、太めのタイヤ&ホイールとエアロの存在で、チューニングカーの雰囲気も満載



### グリーンメタ×ゴールドの対比



純正のボディカラーに映えるサイドのピンストライプ。下部もステッカーではなく、塗装仕上げというこだわり。サイドステップはアルファード用の加工品、フロントスポイラーはAE86のN2用をやほり加工流用している



追加メーターはMACツールタコメーターの他、オートゲージ製の6つ装着。ルームミラー下のメーターホルダーはワンオフ



エンジンはEP82やEP91などと同じ1.30の4E型。EP91タービン、EP82サージタンク&スロットルを流用し、FCONVプロで制御。エキマニはサンダーエキゾースト製。AE111の6速MTをベリバウジング加工で流用。クスコ1.5WAYなど駆動系にも手が入る



エンジンと同様、室内もカスタムというよりはチューニングカーの雰囲気。前席2脚はスバルコのスプリント。後席は黒布で張り替え済み。FCONVプロの装着位置が面白い

### 取材協力 ロブラリア

チューニングベースとしても素質はあると思います



ロブラリア代表 君嶋陽介さん

こちらのターセルは埼玉県坂戸市にあるロブラリア代表君嶋さんの愛車。「コルサ、ターセルは足回りとカスターレットと共用のパーツが多いので、カスタムチューニングベースとしてオススメです」とコメント。右で君嶋さんが持っているのは、ロブラリアでカラーをカスタムしたWORK Seeker GX。色んなことにチャレンジしているお店だ  
所在地：埼玉県坂戸市青木420-1  
電話：049-299-8983

# WORK

WORKEMOTION

CR 極



# ターセルで極める!

愛車をカッコ良く、他のクルマと差を付けるために欠かせないアルミホイール。リム幅、オフセットサイズの選定から車高、フェンダーの作り込み具合で様々なスタイルとなるからそのマッチングは奥深い。今回はFF系の4穴ホイール車に人気の「WORKエモーションCR極(キワミ)」をカッコ良く履きこなしたターセルを紹介していくぞ



### US仕様でカスタム

ベースは後期型で、フロントグリルに付くトヨタエンブレムなど外装周りを輸出仕様カスタムしている。トランクフードにはフリーハンドで描かれたターセルの文字をカスタムペイント



# ノーマルの姿を忘れて しまっほどの完成度



ヘッドライトは後期用改プロシエクター仕様のワンオフ品。それに伴い、トヨタエンブレムが付くフロントグリルもワンオフ品となっている。フロントのサイドマーカ―は国内物と形状が異なるUS用



**サイズ**

**F:8J(+5) 15inch**  
**R:8J(+20) 15inch**

前後30mm幅の汎用オーバーフェンダーを装着し、前後に8Jという太めのサイズをツライチに収めている(その下の純正フェンダーはカット無し)のツメ折り状態)。ロブラリア君嶋さんによると「(エモーションCR極特有の)スポークの反りが強調される8Jに拘った」とのこと。ホイールカラーはWORKのカスタムオーダープラン「カラリズムクリア」の1つ、キャンディカラーのインペリアルゴールドという特注品



**カラー** キャンディインペリアルゴールド



足回りは前後ともブリッツのZZ-R。スプリングは前が7kg/mm、後ろがヘルパースプリング入りの8kg/mm。EP82用スタビライザーを流用するなど、見せるだけではなく走れる足に仕上がっている



WORKの  
エクストラ  
セレクト

**オプションカラーに注目したい**



**基本のホイールカラー 4種**

**サイズ展開 5.0J、6.5J、8.0J**



**マットブラック アッシュドチタン グリミットシルバー ホワイト**

エモーションCR極の基本カラーについては上の4種類となっているけど、ヴィヴィッドなペイントカラーの「カラリズム」、見る角度によって色が変化する「アステリズム」、そして、今回紹介したターセルが装着していた「カラリズムクリア」のキャンディカラーなど、かなり豊富なオプションに対応している。自分の愛車だけの特別なホイールにカスタムすることができるぞ

